

技 術 情 報

長 崎 県 病 害 虫 防 除 所 長

平成 18 年度病害虫発生予察技術情報第 2 号

茶のクワシロカイガラムシの防除対策について

第 2 世代の防除時期が近づいていますので、下記の点を参考にして防除指導をお願いします。

記

防除対策

- 1 本虫は年 3 回発生するが、それぞれの世代のふ化盛期が防除適期である。
- 2 1 回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると薬剤の効果が低下するので、下表の第 2 世代予測ふ化盛期当日～5 日後に散布する。なお、独自にピーク日を現地調査し防除適期を判断している地域ではその判断を優先する。
- 3 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。
- 4 発生を認めていない園でも新たな発生に注意する。
- 5 薬剤散布に当たっては、使用基準を遵守する。

表 クワシロカイガラムシ第 2 世代のふ化盛期予測日

地 区 名	東彼杵 赤木	東彼杵 太の原	世知原 板山	世知原 木浦原	五島 大津
平成 18 年	7 / 17	7 / 25	7 / 26	7 / 23	7 / 13
平成 17 年(参考)	7 / 14	7 / 25	7 / 27	7 / 22	7 / 13

注 1：ふ化盛期予測日は「有効積算温度則による防除適期予測法(東彼杵茶業支場)」により算出した。

注 2：使用する気温データには、ながさき農林業情報システム 500m メッシュ気象データを利用した。

注 3：平成 18 年 7 月 6 日現在で予測し(1 月 1 日～7 月 6 日まで実測値)、7 月 7 日以降のデータは平年値を利用した。

注 4：同一地区内でも標高や土地条件で発生ピーク日が異なるので注意する。